

■SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアムについて

世界共通の政策課題としてのSDGsの推進、エビデンスに裏打ちされた健康で若年・子育て世代や高齢者が安心して暮らすことができる住宅及び住生活の実現を図り、今後急速に訪れる高齢化社会、低炭素社会に向けての住宅のあり方について、社会変革の加速化を促すことを目的とし、令和元年（2019年）度より令和3年（2021年）度まで国土交通省の補助の下運営される「SDGs-スマートウェルネス住宅研究企画委員会」（委員長：伊香賀俊治（慶應義塾大学教授）、顧問：村上周三（建築環境・省エネルギー機構理事長））を立ち上げ、検討を進めてまいりました。

令和4年（2022年）度からは、令和3年（2021年）度まで実施してきたSDGs-SWH研究の検討内容を継続・具現化し、世界共通の政策課題としてのSDGsの推進のために、「SDGs-スマートウェルネス住宅設計ガイド研究委員会」を新たに立ち上げ、SDGs達成に資するスマートウェルネス住宅研究開発を行いました。

そして令和7年（2025年）度より、「SDGs-スマートウェルネス住宅改修研究委員会（仮称）」を設置、令和6年（2024年）度までの研究委員会の成果を集大成したSDGs-SWH設計ガイドラインの普及と部分断熱改修対応の充実、最新医学的エビデンスと部分断熱改修を考慮した環境基準案と設計支援ツール（BHAT）への充実を目的として活動してまいります。

「SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアム」は上記研究の実施にあたり、産業界、特に住宅に関連する幅広い業界関係者の意見を活かし有益な成果をあげることを企図して組織されたものです。

本コンソーシアムにご参加いただきますと、スマートウェルネス住宅に係る検討部会への参加や、最新情報の取得や意見交換、企業単位では検討が難しい評価手法等の開発、実建物での測定・検証結果等研究成果の共有等が可能となります。また、年度研究報告書、コンソーシアム会員限定の討論会への参加、各種シンポジウム等の優先案内を受けることができます。

SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアムへご参加いただける企業・法人を随時広く募集いたしておりますので、是非参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加ご希望の方は下記事務局までご連絡ください。

SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアム事務局

（一般社団法人日本サステナブル建築協会内）

担当：熊本、井田

<連絡先>

代表電話：03-3222-6391

E-Mail：swhsurvey@jsbc.or.jp

【研究内容】 ※令和7年（2025年）度～

- ① SDGs-SWHR 環境基準案検討部会（仮称）（部会長：伊香賀俊治住宅・建築 SDGs 推進センター理事長）
新築だけでなく既存住宅の部分断熱改修も考慮した冬季および夏季の室内環境基準案（特に、部屋別、時間帯別、床上高さ別の最低基準と誘導基準、木質系など自然素材内装）を検討する。また、環境基準案を満たすための住宅断熱性能、暖冷房方式、換気方式などの検討を行う。

- ② SDGs-SWHR 設計支援ツール開発部会（部会長：秋元孝之芝浦工業大学教授）
2024年度に開発した設計支援ツール（BHAT）に、ケーススタディの追加、健康評価指標・部分断熱改修などの改良、自治体等への活用支援等を行う。

- ③ SDGs-SWHR 普及推進部会（部会長：小泉雅生東京都立大学大学院教授）
SDGs-SWH 設計ガイドの書籍化をベースに、改修を含むスマートウェルネス住宅の普及推進に向けた施策を検討する。

【組織体制】

